

成長・貢献・感謝

笑顔の人

羽地中学校
学校だより189号
R2. 2. 20

笑顔の人は、県立高校推薦入試や県内外の私立高校の推薦入試で内定をもらった生徒達にインタビューを試み、在校生達への進路選択の指標となるよう構成しました。



笑顔の人は、T・Tさんです。彼を一躍有名にしたのが、早朝の人命救助活動です。名護警察署長からの感謝状授与、名護市教育委員会の善行表彰、県退職校長会・地区退職校長会での善行表彰と多方面から表彰されました。Tさんは野球部や地区駅伝・県駅伝大会でチームを引っ張り、専門委員会活動でも積極的に意見し、学校生活をけん引してきた生徒の一人です。

での開催で最初は気持ちが悪かったが、やっけていく内に、シチマンタル魂で盛り上がり、体育館でもいけると感じたそう。鹿兒島城西高校の進学体育科に内定している彼は、高校でも野球部に所属し、甲子園をめざすとのこと。現在も体力作りのため、4kmのランニングを欠かさない。また、野球だけではなく、理学療法士もめざしているとのこと。理学療法士は、作業療法士と同じように国家資格であり、リハビリテーションチームの医学従事者の一員です。平和で差別のない社会で明るく元気に過ごしたい、彼の瞳には、真っ直ぐに生きていく未来の自分の姿が映っていました。



環境美化コンクール

花壇の美化整備が静かに始まっています。花の苗も追加して植え付けがなされていて綺麗になっています。学級もあります。

雑草は抜かれているか、土は耕されているか、花は咲いているか、が評価基準だ。教室美化も静かに進行しています。清掃用具の整理整頓床にゴミが落ちていないか、ロッカーは整理整頓されているか、密かに環境づくり委員会が審査します。日頃から、意識して取り組んでいるか、委員会の皆さんが、静かに点検しています。

笑顔の人は、G・Dさんです。中学校まで野球を続け、高校でも野球道に打ち込み、山口県代表として甲子園球場のグラウンドに立つことが目標です。中学校三年間で一番思い出に残っていることは、雨でも盛り上がった運動会、悔し涙に濡れた合唱コンクール、はしゃぎすぎた修学旅行、と学校行事を思いっきり楽しみ、行事をこよなく愛する人物なのだ。山口県の桜ヶ丘高校の普通科に内定している彼は、勉強を怠らず脳トレ、3kmランニングと体幹の筋トレ、体力作りのために食事の量を増やした食トレを行っている。内定したからと言って調子に乗らないこと、まわりの声に耐えることで自分を律しているようだ。高校を卒業して大学進学もめざしている。10年後も野球をしていて、プロや世界で通用し活躍できる人になりたいと語っていました。みんなと一緒に何かに熱中して取り組むこと、それがG・Dさんだ。それは、友達を大切にすることでもある。生涯にわたって得た友人は、人生を豊かなものにしてくれるであろう。ちなみにもらったチョコは1個だそう。将来、家族ができて、子や孫や友人達と野球の話に花が咲くだろう。